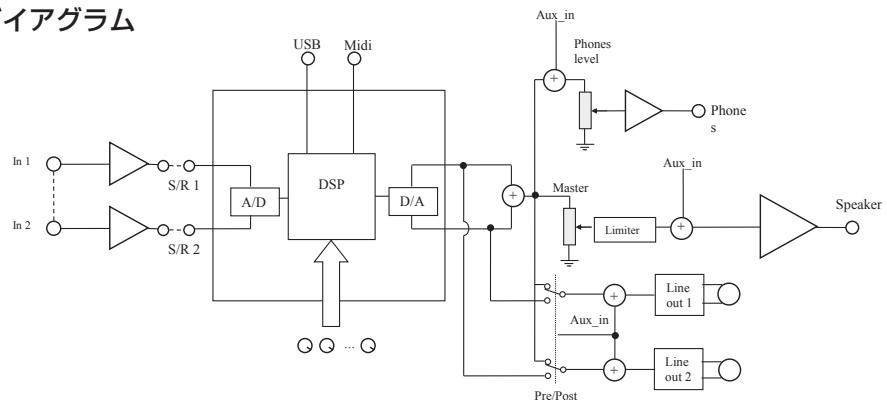


Markbass EVO 1

ブロック・ダイアグラム



■ Markbass EVO1 ソフトウェア

Markbass WEBサイト(<http://www.markbass.it/product-detail/markbass-evo1/>)から無料でMarkbass EVO1ソフトウェア(Windows (32bit / 64bit)、Mac対応)がダウンロード可能です。人気のアンプ・エフェクターのエミュレーションを、このソフトウェアを使用してMarkbass EVO1に割り当てることができます。

Markbass EVO1ソフトウェアができる事

- チャンネルごと、各6種類のアンプトーンの割り当て・保存
- チャンネルごと、各1種類のエフェクターとそのパラメーターの割り当て・保存
- ブーストレベルの設定・保存
- フームウェア・アップデート

<アンプトーン一覧> (※6)	
アンプトーン	参考モデル
Little Mark III	Markbass Little Mark III
T-Green90	TRACE ELLIOT GP12
RB7Hundred	GK RB 700
Blue '70	Ampeg SVT-VR Blue Line
TTE500	Markbass TTE 500
Sunny US	SUNN T
B-Drive21	TECH 21 SANSAMP
Red '96	SWR Red Head
Blue '70 plus	Ampeg SVT-VR Blue Line plus
Bassface '59 US	Fender Bassman
UK120	VOX AC 120
Jmayor	MARSHALL MAJOR

* フームウェア・アップデートにより、新しいアンプトーンに更新される予定です。定期的に、フームウェア・アップデートをお試し下さい。

—Markbass EVO1ソフトウェアをダウンロードして、Zipファイルを解凍し、ご使用のコンピューターに適合するバージョンのソフトウェアをインストールします。

—市販のUSBケーブル[Type B ⇔ Type A]でMarkbass EVO 1のリアパネルのUSB端子とコンピューターを接続し、ソフトウェア起動後にMarkbass EVO1の電源をオンにします。Markbass EVO1とソフトウェアの通信が確立すると、ソフトウェア画面・左下のコネクションLEDが灰色から緑色に変わります。

—チャンネル1のAMPノブに割り当てるアンプトーンは、ソフトウェア上AMPセクションの1～6までのうちから目的のポジションの右側にある矢印をクリックして、表示されたリストの中から好みのものをクリックして選択し、STOREボタンをクリックします。同じ方法でチャンネル2も設定します。

—チャンネル1のエフェクターは、EFFECTセクションの右側にある矢印をクリックして、表示されたリストの中から好みのものをクリックして選択し、各エフェクターのバーチャルノブをドラッグして好みの値に設定し、STOREボタンをクリックし保存します。同じ方法でチャンネル2も設定します。

—ブーストレベルは、バーチャルノブをドラッグして好みの値に設定し、STOREボタンをクリックし保存します。

—アップデートされたフームウェアが公開された時には、ソフトウェア画面・右下のFIRMWAREボタンをクリックしてフームウェアをアップデートして下さい。



安全上の御注意！

この度はMarkacousticアンプをお買いあげいただき有難うございました。

- ・使用開始前に、安全のため下記の説明をよくお読み下さい。
- ・お読みになった後は、必ず保存しておいて下さい。
- ・ここに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を記載していますので、下記の指示を必ず守って下さい。
- ・本書では危険や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。

	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を表示しています。
	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性、および物的損害のみの発生が想定される内容を表示しています。

- ・本書で使用する絵表示は、次のような意味です。

	警告・注意を促す内容があることをお知らせするものです。図の中に具体的な注意内容が書かれています。
	禁止の行為であることを告げるものです。図の中に具体的な禁止内容が書かれています。
	行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容が書かれています。

製品に記されているすべての注意書きに従って下さい。
 ・長期間使用しないときは必ず電源を抜いて下さい。
 ・延長コードをご使用になる場合は必ず容量に見合ったものをご使用下さい。
 ・電源コードは手荒に扱わないで下さい。定期的に断線していないか、あるいはその兆候がないかチェックして下さい。特に両端のモールドの部分に捻れがないか注意して下さい。
 ・電源コードの上には何も置かないで下さい。通路にはコードがかからないように設置して下さい。

キャビネット内の空間、裏面や底面の穴は通気のために設けてあります。穴をふさいだり覆つたりしないで下さい。十分な空間がないとオーバーヒートの原因になります。本製品をビルトインで設置する場合は、適切な冷却装置を必ずご使用下さい。
 ・長時間大音量で演奏すると、耳に負担がかかり、難聴になる危険があります。やむをえず必要な場合には、耳栓を使用するなどして、自衛手段を講じて下さい。

この製品は水気のあるところでご使用にならないで下さい。
 ・この製品を不安定な台車、スタンド、またはテーブルなどの上に置かないで下さい。製品が落として故障の原因となることがあります。
 ・付属の電源コード以外をご使用にならないで下さい。また、製品の裏面に表示してある電圧以外での使用は避けて下さい。

アンプの上にドリンクなどおかないで下さい。こぼれて故障や感電の原因になります。
 ・絶対にご自分でカバーを開けて修理、改造等しないで下さい。製品の内部には高電圧の部分があり大変危険です。必ずお買上になった販売店までお問い合わせ下さい。
 ・下記の場合ただちに電源を抜き必ず修理又は点検に出して下さい。
 *電源コードまたはプラグが破損した場合。
 *製品の上に液体がかかった場合。
 *製品に水や雨がかかるた場合。
 *説明書通り操作しているにもかかわらず正常に作動しない場合。
 *製品が落下した場合やキャビネットが破損した場合。
 *音質等性能が著しく変化した場合。

ヒューズを交換する際は、必ず同じ規格の物を使用して下さい。異なる規格の物を使用すると、発火や、故障の原因になります。
 ・ストップ等の火気の近くには設置しないで下さい。

発火や感電を防ぐため、湿度の高いところや雨のあたるところではご使用にならないで下さい。キャビネットの隙間などから異物を入れたりしないで下さい。
 内部には専門家以外の方で修理出来る箇所はございませんので、異常が発生した場合はお買上になった販売店にご連絡下さい。

■マルコ・デ・ヴァージリスからのごあいさつ

この度は、Markbass EVO1ベース・アンプヘッドをお選びいただきまして、ありがとうございます。

この製品は、ベーシストの皆さんに極上のベース・サウンドを楽しんでいただくだけでなく、ジャンルやテクニックに関わらず“その音楽にふさわしい”サウンドを提供するために、古き良き時代の技術と先進の技術を組み合わせて開発したものです!

Markbass EVO1には2つのチャンネルがあり、1チャンネルにつき6種類のアンプ・サウンドを(専用ソフトウェアから)設定できるため、各チャンネル合わせて12種類のアンプ・サウンドから2つ選択して使用できます。ジャコ・パストリアス氏が何年も前に行っていたように、ベーシストは、クリーンなサウンドと歪んだサウンドの組み合わせに可能性を見出しています。Markbass EVO1はそれを可能にするもので、2台のアンプを同時に使用した時のサウンドを、多くのバリエーションで試す事ができます。2台の楽器をつなげて同時に使用することもできます。どちらのチャンネルにも、昔ながらのスタンダードで使いやすいコントロール・インターフェイスが用意され、チャンネルごとに1種類のエフェクターが使用可能(専用ソフトウェアにある複数のエフェクターから1種類選択)。他にも、MIDI入力端子や内蔵チューナー、AUX入力、ヘッドフォン出力、エフェクト・ループ、XLRライン出力端子、楽器用アンプ専用に開発されたパワフルな最大500W出力のMPT (Mark Proprietary Technology)パワーアンプを搭載しています。繰り返しになりますが、ありがとうございます。それでは、良い音楽を!

General Manager :
Marco De Virgiliis



マルコ・デ・ヴァージリス



■フロントパネル



①INPUT 1端子:

チャンネル1で使用する楽器を接続します。1/4インチ標準フォーンプラグ付きのシールド・ケーブルを使用して下さい。(※1)

②CH1/CH2 MIXスイッチ:

チャンネル1と2のいずれか一方、またはMIXモード(CH1とCH2のミックス。スイッチが中心の位置。)を選択します。チャンネルの選択およびミックスの切り替えは、リアパネルのMIDI IN端子(※2)に接続した“MB EVO 1コントローラー”(別売)などMIDIフットコントローラーからでもコントロールできます。

③AMP 1ノブ:

チャンネル1で使用可能な6種類のアンプ・トーンが設定されており、1つ選んで使用できます。Markbass EVO1ソフトウェア(※2)と接続して、アンプ・トーンを入れかえる事ができます。

<工場出荷時:チャンネル1アンプトーン>(※5)(※6)

AMP 1	アンプ・トーン	参考モデル
1	Little Mark III	Markbass Little Mark III
2	T-Green90	TRACE ELLIOT GP12
3	RB7Hundred	GK RB 700
4	Blue '70	Ampeg SVT-VR Blue Line
5	TTE500	Markbass TTE 500
6	Sunny US	SUNN T

④GAINノブ:
チャンネル1のゲイン量を調節します。

⑤LOWノブ:
チャンネル1の低音域を調整します。

⑥MIDノブ:
チャンネル1の中音域を調整します。

⑦HIGHノブ:
チャンネル1の高音域を調整します。

⑧LEVELノブ:
チャンネル1の音量を調節します。

⑨FX 1 LEVELノブ:
チャンネル1のエフェクトの音量を調節します。(※3)(※4)
<工場出荷時:チャンネル1エフェクト設定>(※5)
Compressore (コンプレッサー)

⑩INPUT 2端子:
チャンネル2で使用する楽器を接続します。1/4インチ標準
フォーンプラグ付きのシールド・ケーブルを使用して下さい。
(※1)

⑪AUX端子:
3.5mmステレオ・ミニプラグ用端子で、ポータブルオーディオ
プレイヤーなどを接続できます。この端子に入力した信号は、
INPUT 1/2の端子に接続した楽器の信号と同量ミックスさ
れます。

⑫AMP 2ノブ:
チャンネル2で使用可能な6種類のアンプ・トーンが設定され
ており、1つ選んで使用できます。Markbass EVO1ソフト
ウェア(※2)と接続して、アンプ・トーンを入れかえる事が可
能です。

<工場出荷時:チャンネル2アンプ・トーン>(※5)(※6)

AMP 2	アンプ・トーン	参考モデル
1	B-Drive21	TECH 21 SANSAMP
2	Red '96	SWR Red Head
3	Blue '70 plus	Ampeg SVT-VR Blue Line plus
4	Bassface '59 US	Fender Bassman
5	UK120	VOX AC 120
6	JMayor	MARSHALL MAJOR

⑬GAINノブ:
チャンネル2のゲイン量を調節します。

⑭LOWノブ:
チャンネル2の低音域を調整します。

⑮MIDノブ:
チャンネル2の中音域を調整します。

⑯HIGHノブ:
チャンネル2の高音域を調整します。

⑰LEVELノブ:
チャンネル2で選択したアンプの音量を調節します。

⑱FX 2 LEVELノブ:
チャンネル2のエフェクトの音量を調節します。(※3)(※4)
<工場出荷時のチャンネル2の設定>(※5)
T-Chorus (コーラス)

⑲MUTE/TUNERボタン:
内蔵された、ギター／ベース用チューナーを起動します。
ピッチ440Hzのレギュラー・チューニング、半音下げチューニ
ング、全音下げチューニングに対応しており、チューニング設定
はMUTE/TUNERボタンを長押しして離す事で切り替える事
ができます。ピッチの変更はできません。
レギュラー・チューニング設定時="b"のLEDが緑色に点灯。
半音下げ・チューニング設定時="b"のLEDがオレンジ色に点
灯。
全音下げ・チューニング設定時="b"のLEDが赤色に点灯。
フロントパネルに表示されている各音名(B, E, A, D, B, C)
の上のLEDが緑色に点灯した場合はその音名にチューニング
された事を表し、オレンジ色の場合は音名より低い場合、赤色
の場合は音名より高い場合を表しています。
チューナーが起動中は、信号はミュートされます。

⑳MIXノブ:
MIXモードをオンにした場合、チャンネル1と2の音量バランス
を調節できます。ノブを、左に回しかるとチャンネル1のみ、右
に回しかるとチャンネル2のみ、12時の位置ではチャンネル1
と2が同じ量ミックスされて出力されます。

㉑BOOSTランプ:
ブースト機能をオンにするとLEDが点灯します。ブースト機能
は、リアパネルのMIDI IN端子⑩に接続した"MB EVO 1コント
ローラー"(別売)などのMIDIフットコントローラーからのみ
オン／オフできます。ブーストレベルの調整は、専用ソフトウェ
ア(※2)で行います。

㉒MASTERノブ:
チャンネル1および2の出力信号をパワーアンプに送る最終的
な音量を調節します。PHONE端子④、各LINE OUT (⑧⑨)
には影響しません。

㉓PHONES LEVELノブ:
PHONES出力④の音量を調節します。

㉔PHONES端子:
ヘッドフォンアウト。3.5mmミニプラグ端子のヘッドフォンが
接続できます。

㉕ON/OFFスイッチ:
アンプの電源のオン／オフを切り替えます。

(※1) Markbass EVO 1は、INPUT 1端子、INPUT 2端
子それぞれに楽器を接続して同時に鳴らすことができます。

(※2) Markbass EVO 1ソフトウェアは、Markbassウェブサイト
(http://www.markbass.it/product-detail/markbass-evo1/)
から無料でダウンロード可能です。

(※3) Markbass EVO 1には、ベーシストに必要な複数のエ
フェクトが用意されており、チャンネルごとに一つのエフェクトが
設定されています。エフェクターの種類やレベル以外のパラ
メーターは、Markbass EVO 1ソフトウェア上で変更・設定し
ます。

〈エフェクト一覧〉

エフェクト	参考モデル
Compressore (コンプレッサー)	Markbass Compressore
T-Chorus (コーラス)	TC Chorus
MW Octaver (オクターバー)	Markbass MB Octaver
Riverbero (リバーブ)	Markbass カスタム
Envelope filter (エンベロープフィルター)	Markbass カスタム
Delay (ディレイ)	Markbass カスタム

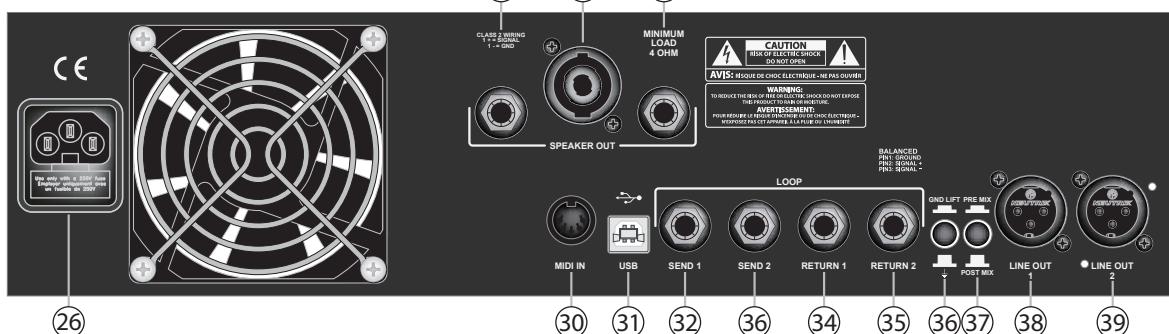
*ファームウェア・アップデートにより、エフェクトが更新される
場合がございます。

(※4) エフェクターのオン／オフの切り替えは、"MB EVO 1
コントローラー"(別売)等MIDIフットコントローラーからコント
ロールできます。チャンネルMIXモードでは、FX1とFX2の同
時使用はできません。

(※5) 工場出荷時に設定されたアンプ・トーン・エフェクトに戻
したい場合は、専用ソフトウェアで個別に設定する必要がござい
ます。

(※6) 各製品名・会社名は、各社に帰属しています。文中の
すべての商標または登録商標は、サウンド説明を目的として
記載されており、各所有者の著作権を侵害する意図はなく、
Markbassとの関係は一切ありません。

■リアパネル



⑥AC電源ソケット:

付属の電源ケーブルを接続する端子です。電源ヒューズのホルダーも内蔵しており、電源ヒューズと予備のヒューズが収められています。

⑦/⑧/⑨) SPEAKER OUT端子:

スピーカー・キャビネットをこれらの端子に接続してください（最小合成インピーダンス4Ω。出力端子は並列接続されています）。

⑩および⑪には、1/4標準フォーンプラグの付いたスピーカー・ケーブルが接続できます。⑫には、SPEAKON（スピコン）プラグの付いたスピーカー・ケーブルが接続できます（2極／4極タイプ対応可。ケーブルは標準の+1/-1端子に接続）。

⑩MIDI IN端子:

"MB EVO 1 コントローラー"（別売）等MIDIフットコントローラーをこの端子に接続すれば、"チャンネル1、2、ミックスの切り替え(MB EVO 1コントローラーでチャンネルをMIXモードにするには、点灯しているチャンネル・スイッチをもう一度押します。)"、"FX1およびFX2のオン／オフ"、"ブーストのオン／オフ"、"チュナー（ミュート）のオン／オフ(MB EVO 1コントローラーでチュナーをオン／オフするには、ブースト・スイッチを長押しして離します。)"が可能です。

接続された5ピンのMIDIケーブルからは、DC9Vのファンタム電源がMB EVO 1コントローラーに供給されます。

●MIDI受信チャンネル: 1

●チャンネル1選択: プログラム・チェンジ PC#1

●チャンネル2選択: プログラム・チェンジ PC #2

●ミックス: プログラム・チェンジ PC #3

●FX1: コントロール・チェンジ CC#1 (オン:1、オフ:0)

●FX2: コントロール・チェンジ CC #2 (オン:1、オフ:0)

●ブースト: コントロール・チェンジ CC #3 (オン:1、オフ:0)

●チュナー: コントロール・チェンジ CC #28 (オン:1、オフ:0)

*別売: MB EVO 1コントローラー

(品番:MAK-EVO1/CTR JAN:8033829132357)

⑪USB端子:

市販のUSB ケーブル[Type B ⇄ Type A]を使用してコンピューターと接続します。Markbass EVO1とコンピューターをUSBケーブルで接続し、専用ソフトウェアを起動した後Markbass EVO1の電源をオンにして下さい。

■技術仕様

INPUTS / OUTPUTS

インプット CH1 入力:	1/4インチ・モノラル端子 インピーダンス1MΩ
インプット CH2入力 :	1/4インチ・モノラル端子 インピーダンス1MΩ
AUX入力:	3.5mm・ステレオミニ端子
リターン1/2 入力:	1/4インチ・モノラル端子 50kΩ
センド1/2出力:	1/4インチ・モノラル端子 1kΩ
スピーカー出力:	1/4インチ・モノラル端子(×2)、ノイドリック・スピコン端子(×1)
*並列接続。最小合成インピーダンス 4Ω	
ラインアウト 1出力:	XLRバランス
ラインアウト2出力:	XLRバランス
ヘッドフォン出力:	3.5mm・ステレオミニ端子
USB:	USBタイプB端子
MIDI IN:	5ピンDIN端子

CONTROLS

<各チャンネル>

GAIN、LOW、MID、HIGH、LEVEL、FX LEVEL

*選択可能なアンプ: 各チャンネル6種類

*選択可能なエフェクト: 各チャンネル1種類

<共通>

チャンネル切り替えスイッチ: CH1 / MIX / CH2

MIX : CH1 ~ CH2

PHONES LEVEL、MASTER、GND LIFTスイッチ、PRE MIX / POST MIX切り替えスイッチ

MIDI

チャンネル1・チャンネル2・ミックス 切り替え

FX1 オン／オフ、FX2 オン／オフ

ブースト オン／オフ

ミュート・チュナー オン／オフ

OTHERS

パワーアウトプト: 500W RMS (4Ω)、300W RMS (8Ω)

サイズ: 360 (W)×100 (H)×254 (D) mm

重量: 3.2 kg

電源: 100V、50/60Hz

ヒューズ: T6.3A 250V

*Markbass / DV MARK / Markacousticアンプは、ご使用の国や地域に応じて製造されており、工場出荷時にその国や地域の電源電圧に合わせて設定されています。機器認証の関係で、電源電圧の変更はできません。

■付属品

・ラックマウントキット(ラックイヤー、取付けネジ一式)

*アンプ本体側面の3箇所のネジ穴に、付属のネジでラックイヤーを取付けます。